

プロジェクター天吊り金具 FPM-KZ100S

取扱説明書

このたびはプロジェクター用天吊り金具をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

お客様へ

本取扱説明書は、工事業者様に向けたものです。本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず専門の販売店や工事専門業者へ依頼してください。
また、工事完了後は、本取扱説明書を工事業者様よりお受け取りの上、大切に大切に保管してください。

販売店様・工事業者様へ

天吊り金具の取り付けには特別の技術が必要です。
設置の際は、本取扱説明書をよくご覧のうえ、正しく安全に設置を行ってください。
お客様の安全のため取り付け場所の強度には、本体および取付けユニット等の荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工をお願いいたします。工事完了後の本取扱説明書をお客様へお渡してください。

この「FPM-KZ100S」が取付可能なプロジェクターは下記のとおりです。

富士フィルム製プロジェクター
FP-Z8000/Z6000シリーズ、FP-ZUH6000シリーズ、FP-ZUH12000シリーズ


2026年6月 改訂版


もくじ

安全上のご注意	3・4
同梱の部品一覧	5
プロジェクターの取り付けかた	
1. 天井取付金具を天井に取付ける	6
2. プロジェクター本体へプロジェクター取付金具を取り付ける	7
3. 天井取付金具にプロジェクターをつり下げる	8
4. 落下防止ワイヤーを取付ける	9
設置角度の調整	10・11
仕様	12


安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。


お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 注意（警告を含む）をうながす内容を告げるものです。


 実施してはいけないことを表しています。


 実施しなければならないことを表しています。


警告


 本天吊り金具の設置工事は、必ず工事専門業者、または販売店へご依頼ください。
お客様による設置は絶対におやめください。工事の不備により、大きな事故の原因となります。
本取扱説明書にしたがって、確実に施工をしてください。


 プロジェクターの取り付けや、取り外し作業は2人以上で行ってください。
プロジェクターが落下してけがをしたり、プロジェクターが破損する原因となることがあります。

 取付作業は足場の安全を確保してから実施してください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因になります。

 安全確保のため、ボルトおよびネジ類は確実に締めつけてください。
プロジェクターが落下して、けがの原因となります。







 強度が不足する場所には取り付けないでください。
プロジェクターが落下して、けがの原因になります。
天井の強度は、少なくともプロジェクター重量の4倍以上の強度に耐える必要があります。
万が一強度が不足している場合は、先ず天井面を補強したのち、吊り下げ金具を取り付けてください。

 プロジェクターの動作中は、レンズを除かないでください。視力障害の原因となります。

 付属品（ボルト・ネジ・ワッシャー）は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
万が一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談してください。

安全上のご注意（つづき）

注意

-  指定されたプロジェクター以外のものに取り付けしないで下さい。
また、指定されたの取付方法以外での取り付けは行わないで下さい。
プロジェクターが落下して、けがの原因をしたり、機器が破損する原因となります。
-  湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所や、屋外には取り付けしないでください。
また、暖房器具の直上にはプロジェクターを取り付けしないでください。
プロジェクターに悪影響を与えたり、火災・感電の原因となります。
-  プロジェクターの吸気・排気をさまたげる場所に設置しないでください。
プロジェクター内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
-  プロジェクター本体や天吊り金具にぶら下がったり、ものをぶら下げないでください。
プロジェクター本体が落下して、けがの原因となることがあります。
-  取付の際は、必ず付属の構成部品を使用してください。
こわれたり、プロジェクターが落下して、けがの原因となります。
-  取付ボルトや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置してください。
天井内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

本取扱説明書に記載されていない施工方法や指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損傷が生じたときには、当社では責任を負えません。

ご使用が終了した製品は、工事専門業者・販売店にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。

同梱の部品一覧

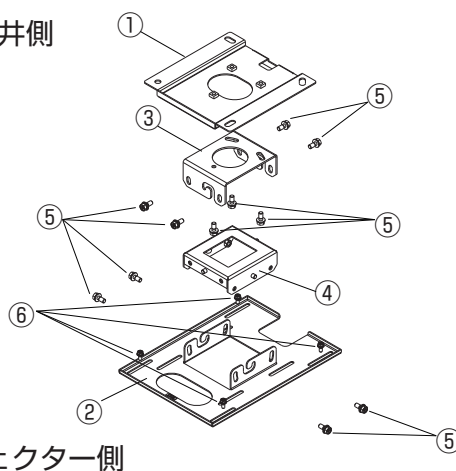
- 下記の構成部品一覧リストをご覧になり、同梱品を確認してください。
万が一、不足や不良がありましたら、お買い求め頂いた販売店までご連絡ください。
- セットボルトの取り付けに必要な、プラスドライバーをご用意ください。

品番	品名	外観図	数量	用途
①	天井取付金具		1	プロジェクター取付用
②	プロジェクター取付金具		1	
③	回転角度調整金具		1	
④	水平角度調整金具		1	
⑤	M8 × 20 セットボルト		11	取付金具組立用
⑥	M6 × 18 セットボルト M6 ワッシャー		4	プロジェクター取付用
⑦	M8 アイボルト		2	落下防止用
⑧	M8 樹脂ワッシャー		2	
⑨	M8 スプリングワッシャー		2	
⑩	落下防止ワイヤー (L=260)		2	
⑪	落下防止ワイヤー (L=560)		2	
⑫	リングキャッチ		1	
⑬	両口スパナ (13mm、10mm)		1	水平角度調整用
⑭	取扱説明書 (本書)		1	

●ネジ類の締め付けトルクは、M6 : 4.0±0.5N・m M8 : 9.0±0.5N・m

●全体の構成

天井側



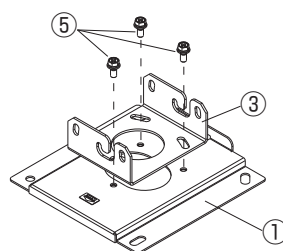
プロジェクター側

プロジェクターの取り付けかた

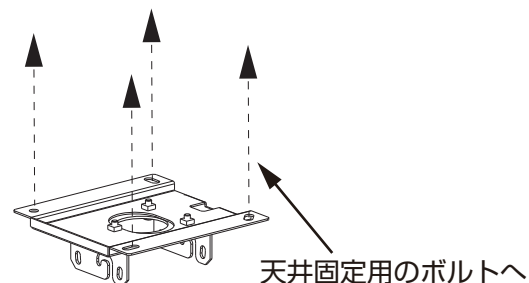
取付の前に、設置される場所の高さ・広さ・建物構造をご確認の上、プロジェクターの取付位置を決めてください。
スクリーンまでの投写距離はプロジェクターの取扱説明書または投写シミュレーターをご覧ください。

1. 天井取付金具を天井に取り付ける

①天井取付金具と③回転角度調整金具を⑤M8×20セットボルト3本を使って固定します。
後程回転角度の調整を行うため締めすぎないようにしてください。



③回転角度調整金具と組み合わせた①天井取付金具を天井固定用のボルトを使ってしっかりと締め付けます。
①天井取付金具を取付ける際は『LENS』表記がプロジェクターのレンズ側になるように設置します。



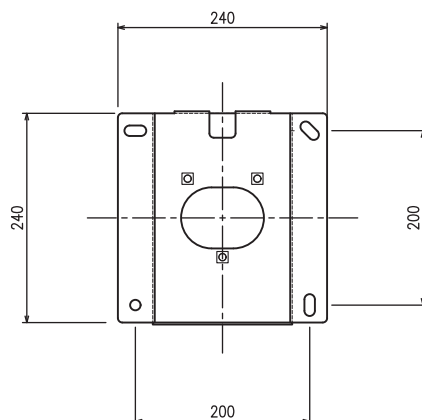
警告



天井固定用のボルトはM10又はW3/8を使用してください。
上記以下のボルトを使用するとプロジェクターが落下してけがの原因となります。
天井固定用のボルトやナットは付属しておりませんので、設置環境に応じてご用意ください。

①天井取付金具の取付寸法については、下記図を参照してください。

天井設置面寸法図 (単位: mm)



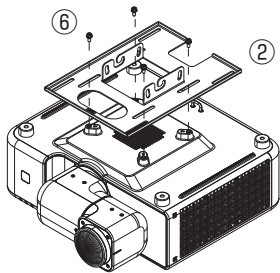
▶角度調整方法については、「P.10、P.11 設置角度の調整」を参照してください。

2. プロジェクター本体にプロジェクター取付金具を取り付ける

⚠ プロジェクター本体裏側の形状の違いにより、取付手順が異なります。

〈FP-ZUH6000/FP-ZUH12000〉

⑥M6×18のセットボルトとM6ワッシャーを使い、プロジェクター本体に②プロジェクター取付金具を取り付けます。



④水平角度調整金具の左右のフック部分に
②プロジェクター取付金具の突起部分を引掛けて取り付けます。

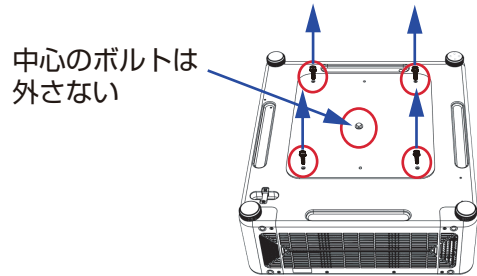
取り付けした②プロジェクター取付金具と④水平角度調整金具を
⑤M8×20のセットボルト4本を使用して取付けます。

なお、4カ所のボルトは傾き調整用に使用しますので、
ここでは仮止めします。
調整後にしっかり締め付けてください。

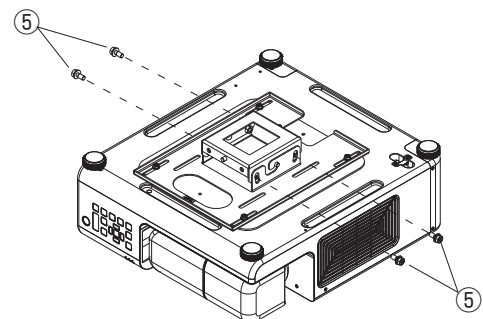
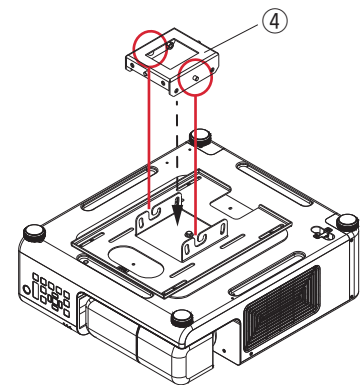
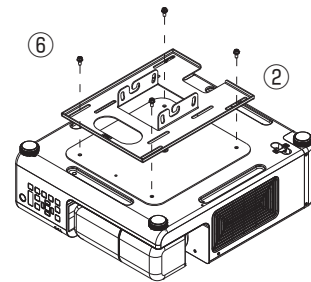
〈FP-Z8000/FP-Z6000〉

プロジェクター本体の裏側プレートを固定している
四隅のボルト（4つ）を外します。

⊘ 中心のボルト（1つ）は取り外しません。

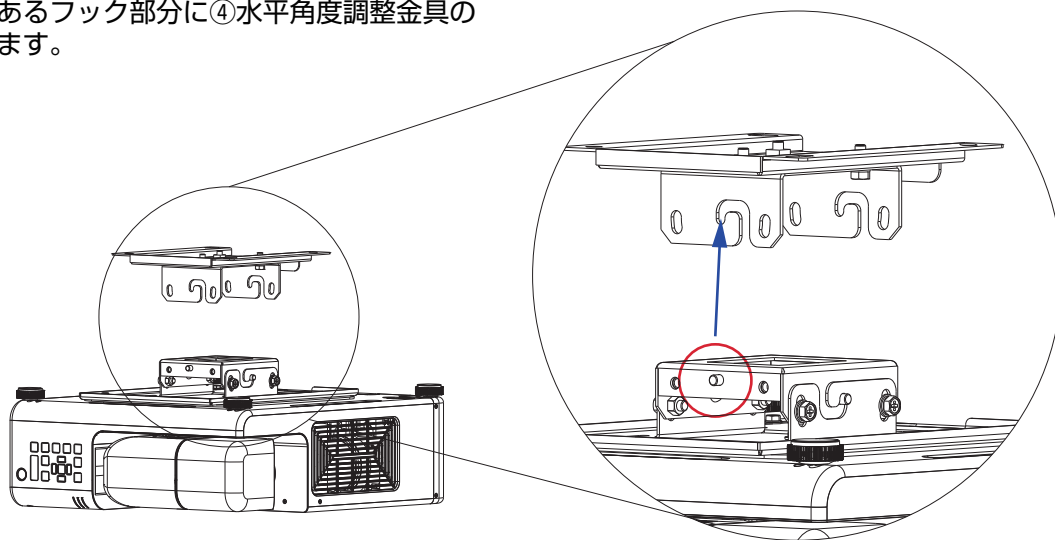


プロジェクター本体の裏側にある調整脚を外し、
⑥M6×18のセットボルトとM6ワッシャーを
使い、プロジェクター本体に②プロジェクター
取付金具を取り付けます。

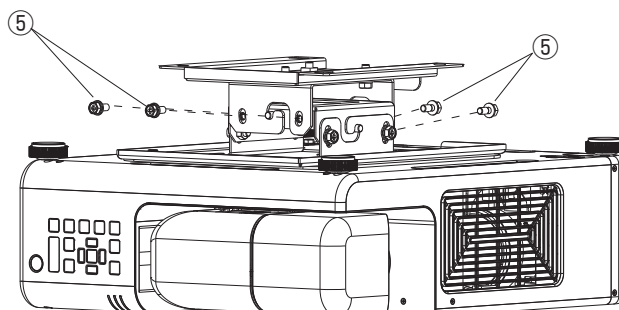


3. 天井取付金具に 프로젝ターを吊り下げる

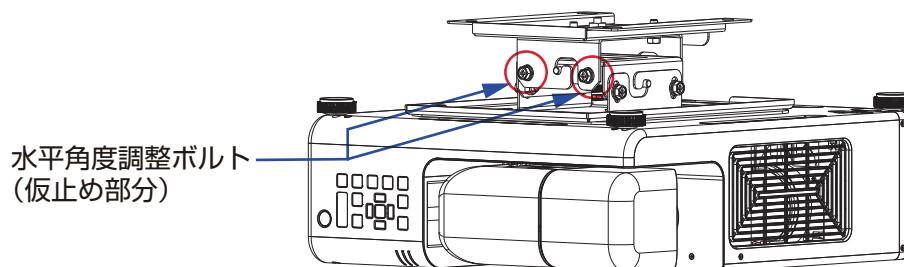
①天井取付金具と組み合わせて天井に取り付けた③回転角度調整金具の前後にあるフック部分に④水平角度調整金具の突起部分を引掛けます。



④水平角度調整金具の突起部分が確実に掛かっていることが確認できたら⑤M8×20セットボルト4本を使用して固定します。



なお、ボルトは水平角度調整用として使用しますのでここでは仮止めします。
調整後にしっかりと締め付けてください。



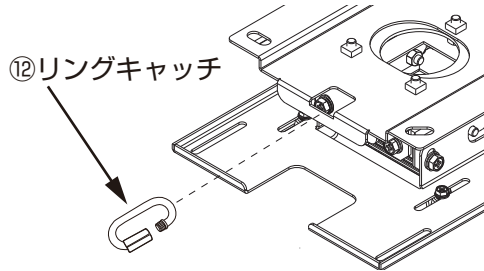
▶角度調整方法については、「P.10、P.11 設置角度の調整」を参照してください。

4. 落下防止ワイヤーを取付ける

天吊り設置後はプロジェクターの落下と横揺れ防止のために落下防止の工事を行ってください。

⚠ プロジェクター本体裏側の形状の違いにより、取付手順およびワイヤーが異なります。

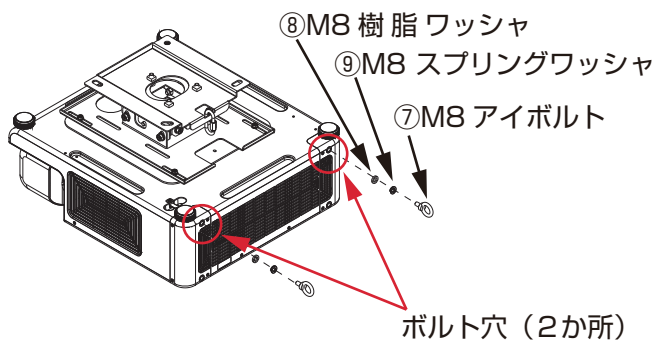
①天井取付金具の背面側開口部分に⑫リングキャッチを取付けます。



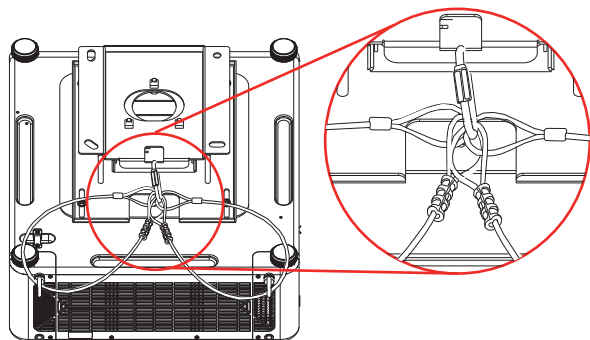
〈FP-Z8000/FP-Z6000〉

❗ 落下防止ワイヤーはアイボルトに通します。
ワイヤーは長いものを使用してください。

プロジェクター本体の背面部にあるボルト穴2か所に⑦M8アイボルトを取り付けます。

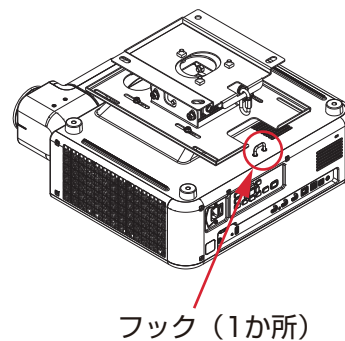


⑪落下防止ワイヤー (L=560) をプロジェクター本体に取り付けた⑦M8アイボルトに通します。ワイヤー両端の輪を上記で取付けた⑫リングキャッチに掛けます。もう1本の落下防止ワイヤーも同様にアイボルトに通した後、両端の輪を⑫リングキャッチに掛けます。⑫リングキャッチに4本の輪が掛かっていることが確認出来たら、リングキャッチのネジをしっかりと締めこみます。

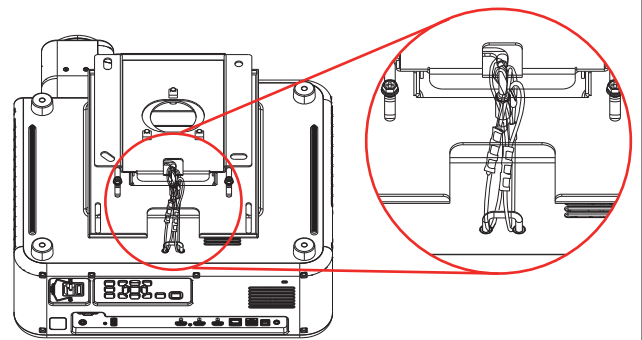


〈FP-ZUH6000/FP-ZUH12000〉

❗ 落下防止ワイヤーはプロジェクター本体のフックに通します。
ワイヤーは短いものを使用してください。



⑩落下防止ワイヤー (L=260) をプロジェクター本体のワイヤーフックに通します。ワイヤー両端の輪を上記で取付けた⑫リングキャッチに掛けます。もう1本の落下防止ワイヤーも同様にアイボルトに通した後、両端の輪を⑫リングキャッチに掛けます。⑫リングキャッチに4本の輪が掛かっていることが確認出来たら、リングキャッチのネジをしっかりと締めこみます。



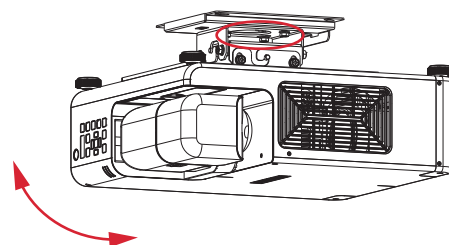
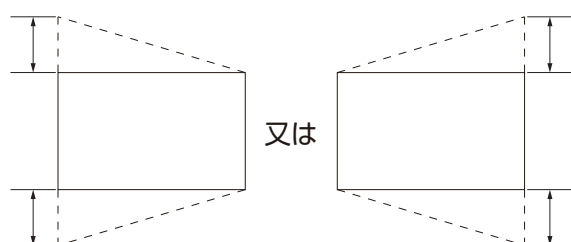
❗ 落下防止ワイヤーは必ず2本取り付けてください。

投射角度の調整方法

- ・天吊金具には水平方向の回転機構、上下左右の傾き調整機構、前後のスライド機構があります。プロジェクターのレンズ面とスクリーンが直角となるように調整してください。
- ・プロジェクターの取扱説明書をご参照の上、プロジェクターから映像を投射し、投射画面サイズ、フォーカスを仮決めした後に角度調整を行ってください。

■水平方向の回転角度を調整する

- ・③回転角度調整金具に取付けた⑤M8×20セットボルト（3カ所）を内側から⑬スパナを使用して緩めます。
- ・投射画面の上下端が水平になるようにプロジェクター本体を水平方向に回転させます。
- ・角度の調整が終わったら⑤M8×20セットボルト（3カ所）をしっかりと締め付けます。



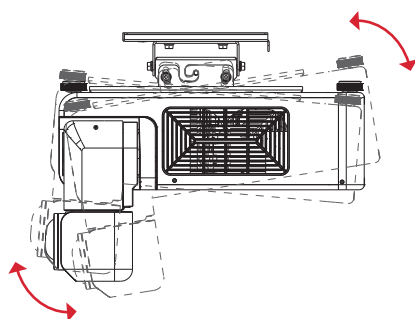
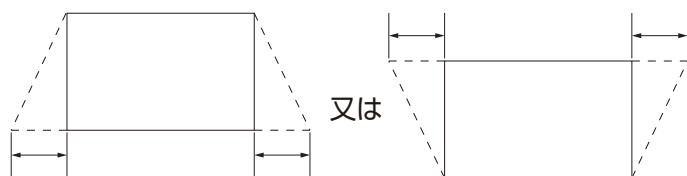
※最大調整角度±5°

⚠ 注意

ボルトは緩めすぎないでください。ボルトを緩めすぎると本体が落下する恐れがあります。

■垂直角度を調整する

- ・②プロジェクター取付金具のフック部分に取付けた⑤M8×20セットボルト（4カ所）を緩めます。
- ・投射画面の左右端が水平になるようにプロジェクター本体の垂直角度を調整します。
- ・角度の調整が終わったら⑤M8×20セットボルト（4カ所）をしっかりと締め付けます。



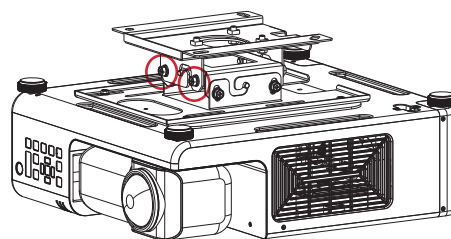
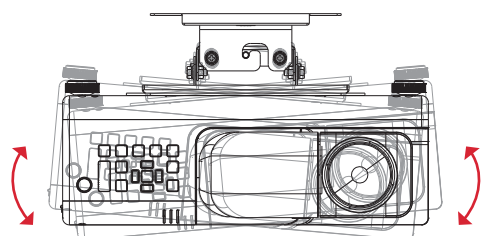
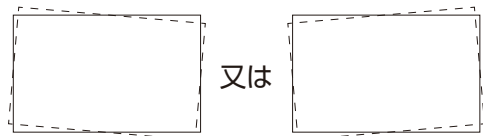
※最大調整角度±8°

⚠ 注意

ボルトは緩めすぎないでください。ボルトを緩めすぎると本体が落下する恐れがあります。

■水平角度を調整する

- ・④水平角度調整金具の⑤M8×20セットボルト（4カ所）を緩めます。
- ・投射画面がスクリーンに対して傾きなく投射されているように角度を調整します。
- ・角度の調整が終わったら⑤M8×20セットボルト（4カ所）をしっかりと締め付けます。



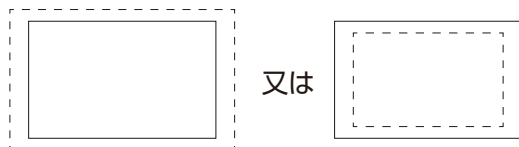
※最大調整角度±5°

⚠ 注意

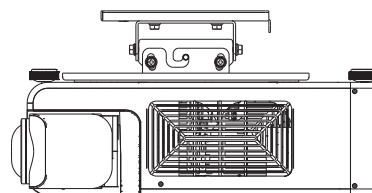
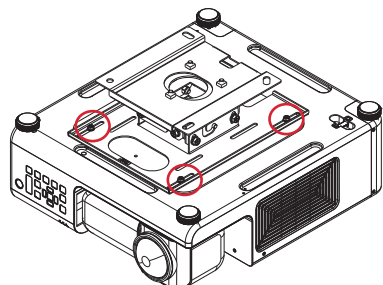
ボルトは緩めすぎないでください。ボルトを緩めすぎると本体が落下する恐れがあります。

■投射映像の大きさを調整する（前後スライド機構を調整する）

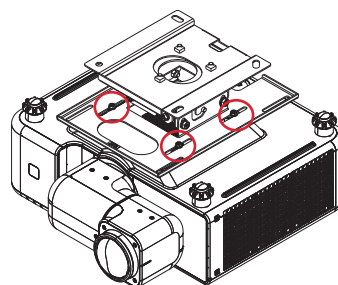
- ・②プロジェクター取付金具と⑥M6×18セットボルト（4カ所）を緩めます。
- ・プロジェクターを前後に動かし投射画面がスクリーンに納まるように位置を調整します。
- ・位置の調整が終わったら⑥M6×18セットボルト（4カ所）をしっかりと締め付けます。



〈FP-Z8000/FP-Z6000〉



〈FP-ZUH6000/FP-ZUH12000〉



⚠ 注意

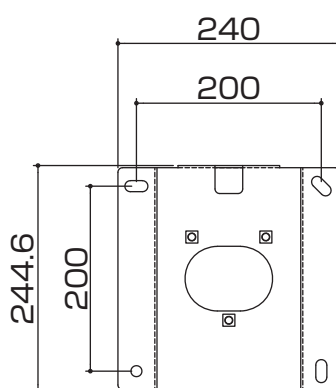
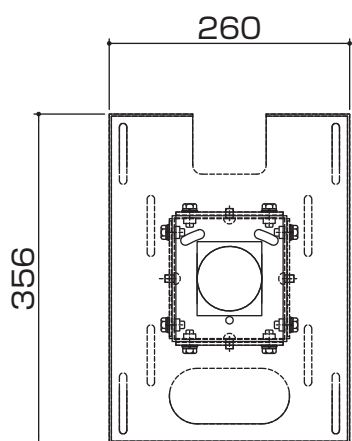
ボルトは緩めすぎないでください。ボルトを緩めすぎると本体が落下する恐れがあります。

全ての調整作業が終わったらすべてのボルト・ネジをしっかりと締め付け固定されていることを再度確認してください。

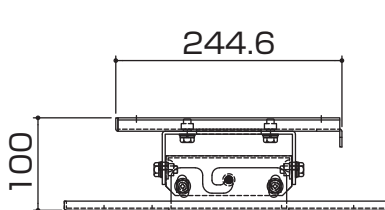
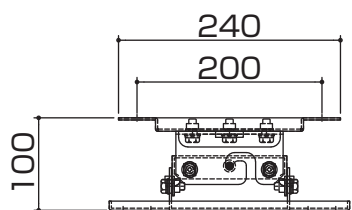
仕様

製品名 : FPM-KZ100S
外形サイズ : W 260 × D 356 × H 100 (組立時、突起部含まず)
質量 : 6.0kg
調整角度 : 垂直角度 ±8°
 水平角度 ±5°
 回転角度 ±5°
前後スライド ±30mm

外形寸法



《 天井取付金具 》



KIC 株式会社 ケイ アイ シー

KIC CORPORATION

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-28-11

TEL. 03-3357-4839 (代)

<https://kic-corp.co.jp>